

リレー随想

ちいさなうさぎちゃん、うさぎ
こちゃんとうみ(いずれも、デ
イック・ブルーナーぶん／え
石井桃子訳 福音館書店刊)等
々の、子どもに人気のある、う
さぎちゃんシリーズという絵本
があります、その影響だと思
うのですが、三歳になるまでの
娘の夢は、うさぎになる(こと)で
した。

どうしてうさぎになりたいと
思うようになったのか、分かる
ようで分からないところがある
のですが、相当な気持ちである
らしく、夕飯のシチューの中か
ら、野菜だけを選んで食べるよ
うになりました。

「いくらがんばっても、うさぎ
にはなれんど。肉も食べな
ん」。四歳の兄はいくらが大
人の知恵を身につけています。
娘はまわりから何を言われて
もがんとして聞き入れず、黙
々と野菜を食べている様子は
おかしくもあり、また、この子
はどこか遠くへ行きたいのか
な、と思うと悲しくもありま
した。

うさぎの夢

土地家屋調査士

田口 一法さん



そのうち、うさぎの鳴き声は
どんなだったかな、という話に
なりましたが、だれもうさぎの
鳴き声を聞いた人はいませんで
した。

「あきちゃんがうさぎになっ
たら、お話しできないね。犬だ
ったらワンとか、キャンとか、

お話しできるよ」。母親からそ
う言われても、犬とか猫とかに
なるつもりはないみたいで、無
表情な顔でどこかを見つめてい
ました。

その夜、私の弟ですが、この
子のおじさんが遊びに来まし
た。

「おじちゃんパンチ」。そつ
と後ろに忍び寄ったおじさんか
ら、いきなりポカリとやられ、
さて何とやり返したものが、し
ばらく考えていましたが、何や
ら二ヤツとすると、おじさんの
おなかの上で馬乗りになり「う
さぎパンチ」と言っただけ、ポ
カあばれた。四歳の兄もそ
れに加わり、空気は一気になご
んだのでした。

多分、このときにくさぎにな
りたいという夢は壊れたのでし
ょう。それとも、もう壊れてい
たのかも知れません。ガシャン
と、何かをたたむ音が聞こえた
気がしました。夢を持つのも自
分なら、その夢を終わらせるの
も自分です。私は心の中で、ガ
ンバレ」と自分の子どもに声援
を送りました。

月日はたつて、この子も今
や中学二年生。今は、漫画家に
なりたいたいという夢を見ていま
す。